

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 不二精機株式会社

コード番号 6400 URL <http://www.fujiseiki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊井 剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 山本 幸司

TEL 06-4306-6822

四半期報告書提出予定日 平成22年11月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	4,334	9.4	263	647.9	107	—	197	538.5
21年12月期第3四半期	3,961	△36.7	35	—	△70	—	30	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	28.94	—
21年12月期第3四半期	4.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
22年12月期第3四半期	5,540	—	441	—	8.0	64.81
21年12月期	5,870	—	309	—	5.3	45.47

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 441百万円 21年12月期 309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	0.00	0.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,995	10.3	329	81.8	179	135.5	245	231.1	35.98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無  
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）  
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有  
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
② ①以外の変更 無  
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期3Q	7,354,000株	21年12月期	7,354,000株
② 期末自己株式数	22年12月期3Q	544,200株	21年12月期	544,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期3Q	6,809,800株	21年12月期3Q	6,682,600株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】P. 2「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書（第3四半期連結累計期間） .....	6
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需拡大の兆しが見えないまま、急激な円高による輸出企業業績の下降懸念が広がるなど、平成20年秋以降の世界金融危機の深刻な影響が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車分野、液晶パネル用導光板等の新規分野への事業展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、固定費の圧縮、内製化による外注加工費の削減等のコストダウンの推進により、損益の改善に取り組んでおります。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比3億73百万円(9.4%)増の43億34百万円となりました。

損益につきましては、外注加工費の削減をはじめとした製造原価低減活動を徹底的に進めたこと等により、営業利益は、前年同四半期比2億28百万円(647.9%)増の2億63百万円、為替差損を計上したものの、営業利益が増加したこと等により、経常利益は1億7百万円(前年同四半期は経常損失70百万円)、経常利益が増加したこと等により、当四半期純利益は前年同四半期比1億66百万円(538.5%)増の1億97百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億29百万円(5.6%)減の55億40百万円となりました。

これは、主として、未収入金が1億50百万円及び有形固定資産が2億42百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比4億61百万円(8.3%)減の50億99百万円となりました。

これは、主として、支払手形及び買掛金が1億45百万円及び長期借入金が1億78百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末比1億31百万円(42.5%)増の4億41百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年8月6日付で公表しました連結業績予想の変更はありません。

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。今後におきまして、連結業績予想数値修正の必要が生じた場合は、適時適切に開示を行ってまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結累計期間において、重要な子会社の異動はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### ①固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

##### ②たな卸資産の計上

たな卸資産の計上は、帳簿たな卸高と、一部実地たな卸高によっております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更)

射出成形用精密金型及び成形システム事業に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用していましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については、工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を適用し、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	912,939	788,278
受取手形及び売掛金	1,174,552	1,319,846
製品	175,064	259,382
仕掛品	292,812	118,030
原材料及び貯蔵品	81,324	68,068
未収入金	268,225	418,790
繰延税金資産	30,124	12,854
その他	65,213	66,937
貸倒引当金	△6,570	△2,090
流動資産合計	2,993,687	3,050,097
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	757,792	832,580
機械装置及び運搬具(純額)	995,511	1,175,062
土地	531,355	530,115
建設仮勘定	68,872	52,768
その他(純額)	76,654	81,937
有形固定資産合計	2,430,186	2,672,464
無形固定資産		
無形固定資産合計	36,046	45,230
投資その他の資産		
投資有価証券	10,809	26,195
長期貸付金	4,000	4,000
その他	74,456	103,003
貸倒引当金	△8,573	△30,899
投資その他の資産合計	80,691	102,299
固定資産合計	2,546,925	2,819,994
資産合計	5,540,612	5,870,092

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	508,036	653,989
短期借入金	3,224,646	3,320,598
未払金	168,046	187,326
未払法人税等	5,683	14,447
賞与引当金	85,962	48,894
その他	168,447	205,513
流動負債合計	4,160,823	4,430,769
固定負債		
長期借入金	753,077	931,614
長期未払金	808	2,726
繰延税金負債	68,188	75,350
退職給付引当金	12,118	10,258
役員退職慰労引当金	48,811	48,811
事業撤退損失引当金	55,419	60,893
固定負債合計	938,422	1,129,654
負債合計	5,099,246	5,560,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	948,592	948,592
資本剰余金	918,000	918,000
利益剰余金	△1,012,901	△1,209,955
自己株式	△261,837	△261,837
株主資本合計	591,852	394,799
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,224	4,776
為替換算調整勘定	△152,710	△89,906
評価・換算差額等合計	△150,486	△85,129
純資産合計	441,366	309,669
負債純資産合計	5,540,612	5,870,092

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,961,068	4,334,572
売上原価	3,232,048	3,373,299
売上総利益	729,019	961,273
販売費及び一般管理費	693,778	697,691
営業利益	35,241	263,582
営業外収益		
受取利息	1,845	774
受取配当金	160	128
受取保険金	—	8,290
仕入割引	1,054	1,117
その他	25,503	5,313
営業外収益合計	28,563	15,624
営業外費用		
支払利息	89,275	84,638
為替差損	8,397	67,375
その他	36,290	20,061
営業外費用合計	133,963	172,075
経常利益又は経常損失(△)	△70,158	107,131
特別利益		
固定資産売却益	43,338	2,979
匿名組合投資利益	129,334	69,521
投資有価証券売却益	4,233	—
特別利益合計	176,906	72,501
特別損失		
固定資産売却損	58,353	15
固定資産除却損	851	956
減損損失	11,876	—
たな卸資産評価損	10,953	—
特別損失合計	82,033	971
税金等調整前四半期純利益	24,714	178,661
法人税、住民税及び事業税	5,688	6,755
法人税等調整額	△11,835	△25,148
法人税等合計	△6,146	△18,392
四半期純利益	30,860	197,053

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。